NIE実践報告

1．タイトル：**自分の考えを深めよう**

2．学校名

鹿児島県霧島市立青葉小学校

3．実践者名（代表者名）

榊　朋子

4．学年

第６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　１０３人

6．単元（本時の学習課題）名

続けてみよう

7．目標(狙い)

新聞を資料として活用し，新聞記事の要約・感想・意見を書き，友達と伝え合う活動を通して，自分の考えを深める。

8．評価の視点

新聞から関心のある記事を選び，記事の要約や感想・意見をもとに，友達と伝え合う活動を通して，自分の考えを深めているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

続けてみよう　１０時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（１）　新聞記事を読んで，伝えたいことを想起しながら学習の見通しをもつ。
（２）　新聞記事の要約や感想・意見をカードに書き込む。
（３）　自分のカードをもとに，１分間スピーチの原稿を考える。
（４）　友達のスピーチを聞いたりカードを読んだりして，改善意見や共感意見を自分のカードに書き込む。
（５）　改善意見や共感意見を書き込んだカードを互いに読み合う。
（留意点）
- **年間を通して，毎週月曜日に継続して取り組むことを知らせる。**
- **自分が関心のある記事を選ぶだけでなく，子どもが興味・関心をもちそうな記事を教師が選んで要約したり感想・意見を書いたりすることを知らせる。**
- **記事の要約をするために大切な言葉は何か注意深く読むように助言する。**
- **伝え合う活動を通して，考えを共有したり深めたりすることを指導する。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

年間を通した取組によって，子どもたちは徐々に学習方法にも慣れ，意欲的に学習する姿が見られた。友達の意見に対する改善意見や共感意見ももつことができるようになり，自分の考えを深めることができつつある。

12．成果と課題

子どもたちは，5年生の時から新聞記事をもとにした1分間スピーチを経験している。この活動をさらに，継続的・発展的に実践していこうと考え，本実践に取り組んだ。
新聞を活用して，子どもが自分の考えを深めることができたことや友達との伝え合う活動が楽しく実践できたことなどが成果といえる。一方，教科の年間計画にどのように位置付けていくか，他教科との関連をどのように図っていくかなど課題としてあげられる。